



実際の市議会議場と議席を使った本格的な議会

宇城市子ども議会が開催 ふるさとの未来を中学生と考える

7/30 市役所新館の議場で、宇城市子ども議会が開催されました。この日は、市内5つの中学校から21人の生徒が子ども議員として参加。中学校の国際化への取り組みや給食センターの役割といった中学生に身近な問題から、観光や環境、少子高齢化など市全体の課題まで、幅広い内容の質問が行われました。守田憲史市長は「宇城市の未来を今の中学生が担う時代が必ずくる。宇城市をよりよい市にしてください」と激励しました。



堂々と一般質問を行いました

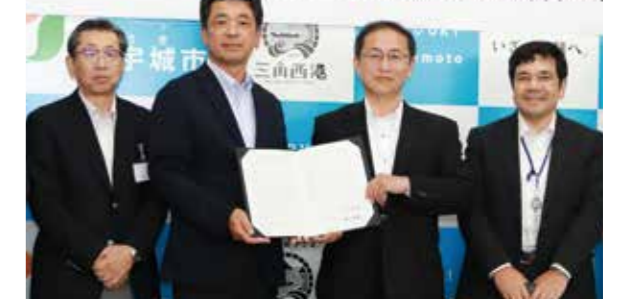


終了後には全員で記念撮影

住宅金融支援機構と連携協定締結 市の空き家バンク利用で金利を優遇

7/25 市と住宅金融支援機構は、市の空き家バンク制度利用者が金利の引き下げ制度を利用できるようにするため、連携協定を締結しました。市は昨年12月に空き家対策の計画を策定し、今年5月からは産官学での空き家対策プロジェクトチームを結成して空き家対策に力を入れています。この制度を利用して現在の35年固定金利(フラット35)で2,000万円を借り入れた場合、市の補助金60万円に加え金利分が約25万円安くなります。

宇城市と住宅金融支援機構、 連携に関する協定締結式



守田市長(中央左)と喜多九州支店長(中央右)

大野橋デイサービスセンターで茶話会 地域のつながりを育てて50回

7/28 松橋町の大野橋デイサービスセンターで50回目となる茶話会が開かれ、地元曲野南地区を中心に約60人が参加しました。この茶話会は、地域のつながりを作りたいと世話人の高野和幸さんが企画し、毎月開かれています。平成27年4月に始まったこの会は毎回「お勉強」と「出し物」が行われ、たくさんの人が楽しんで参加しています。この日はカラオケや宇土市民吹奏楽団の演奏に、参加者たちは楽しい時を過ごしました。



吹奏楽の演奏も楽しみました

地方創生事業は、市民の多様なニーズに答えながら市が抱える多くの重要課題に果敢に挑んでいくものです。これまでの前例踏襲型の手法では成果は挙げられず、柔軟な発想の下、大胆にチャレンジしていく必要があり、検討から実施まで相当の時間を要します。

「仕事は楽しみながら、興味のあることは前に突き進もう」という後押しを頂き、ただ口で言うだけでなく、考えたことを必ず実行し、それが成果へと結びつくようにしようとの思いで取り組んできました。

本市にとって、地方創生は熊本地震以降、初めて本格的に取り掛かる事業でしたので、私も初めは不安の中で試行錯誤していましたが、守田市長から「仕事は楽しみながら、興味のあることは前に突き進もう」という後押しを頂き、ただ口で言うだけでなく、考えたことを必ず実行し、それが成果へと結びつくようにしようとの思いで取り組んできました。

総合戦略に掲げる5年間の目標達成に向けて地方創生事業を継続的に自走できる仕組みを作り上げることは、一人の力だけでは不可能で、関係者のご理解とご協力があったて実現するものです。精一杯努力してきましたが、振り返ると成功より失敗を繰り返しながらのチャレンジでしたので、その点は大変申し訳なく思っています。

退任あいさつ 村上理一 前総合政策監



任期 2017.7.1
~2019.7.13

2年間、このような機会を与えていただいた守田市長をはじめ関係各位に対し、心から感謝申し上げます。地方創生事業がさらにパワーアップし、素晴らしい実を結ぶことで「ちようどいい、住みやすさを実現できる都市、宇城」につながることを期待しまして、退任にあたっての皆さんへのお礼のあいさつとさせていただきます。

宇城市 前総合政策監 村上 理一
(現・総務省総合通信基盤局 電気通信技術システム課課長補佐)

不知火町長崎地区ヤマメつかみ取り大会 きれいな川を未来に残したい

7/28 不知火町の長崎地区で小学生ら約100人が参加してヤマメのつかみ取り大会が開かれました。NPO法人長崎地域農地・水保全隊と地元子ども会が主催。これは、長崎川の水質の良さを子どもたちに知ってもらい、思い出を作ってほしいと企画されたものです。子どもたちは歓声を上げながら放流されたヤマメを追いかけていました。吉本篤史さん(不知火小5年)は「12匹捕まえた。ヤマメはピチピチしていた」と笑顔を見せました。



ヤマメを両手に持ってニコッリ

小川工業高校で小学生ものづくり教室 新たな魅力発見！プログラミングの世界

8/2 小川工業高校で、プログラミングでロボットカーを制作する小学生ものづくり教室が開催され、河江小5・6年生の男女12人が参加しました。高校生の指導の下、ロボットカーを早く走らせるためにプログラミングでモーターの数値などを調整し、タイムを競いました。参加した村上陽葵さん(5年)は「どんどん早くなっていくのは面白い。絵本作家が将来の夢だけど、ゲームクリエイターにもなってみたくなった」と目を輝かせました。



うまく1周できるかな

◆市ホームページには、たくさんの写真と詳しい内容を掲載しています。